



荇田西地区 社協だより

2018年2月

第3号

発行元 荇田西地区社会福祉協議会

お雑煮とお汁粉でおもてなし

小寒と大寒のちょうど中間となる1月13日、恒例となりました「荇田西地区餅つき大会」を荇田西小学校の校庭で開催しました。日が高くなるにつれて春を思わせる柔らかな日差しとなり、子供からお年寄りまで多数の地域の方々に来ていただくことが出来

来ました。昨年度はノロウイルスやO157のような感染症が全国的に大流行したこともあり、今年当初から衛生面での対策を強化するため、熱々



のお雑煮とお汁粉を出すという方針で9月から準備をしてまいりました。途中予想外の問題に遭遇することもありましたが、最終的には荇田西小の先生方、民生委員、自治会、地元の社会福祉団体の皆様など、総計100名近くの方々が応援に駆けつけてくださり、一時は校庭にあふれんばかりの来客があるなかで無事終了することが出来ました。特別にお雑煮は多くのお客様から「素晴らしい出来栄え」と褒めていただき、また多くの子供たちから餅つきの実演は楽しかったとの声を聞き、一同苦労が報われた感じがします。なお人参は二丁目の高橋隆様から寄付していただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



【秋の一日ゆったりバスツアー】を振り返って

平成29年11月20日、台風の影響により一か月順延した「サイボクハム・蔵造りの街川越をめぐる一日」のバス旅行は総勢41名での出発となりました。曇り時々日差しがでる天候で今年一番の冷え込みとなりましたが終始笑顔が絶えない旅行となりました。

最初の訪問地サイボクハムでは高級ハム・ソーセージ・野菜などのお土産を買いこみ、皆さんご機嫌な様子でした。ここで集合写真撮影をパチリ。そして、かつての天台宗関東総本山風格ある伝統と格式のある「喜多院」へ訪問。（次頁へ）

(前頁より) 本堂・五百羅漢は荘厳な趣きでした。ここでも集合写真撮影をパチリ。皆さんが楽しみにしているお昼は有名な老舗料理屋「いも善」で芋料理を堪能しました。そして蔵造りの街・時の鐘での自由散策となり街並みを散策、ここでも名産お芋のお土産を沢山買っていました。



えだにしサロンやっています!

荇田西の街が出来て30年余り、丘陵の林や畑が大きな街に成長しました。それとともに、初期住民の高齢化は進み世帯交代も起きています。高齢者の多くは他地区からの転入者ですがこの街に新たなコミュニティを作ってもらえました。えだにしサロンはそんな皆さんにもうひとつ新しい交流の場を提供しようと年4回開催してします。本年度第3回目は11月8日に荇田西コミュニティハウスで開催されました。講師にビオラ市ヶ尾の守谷さんを

迎えて「悪徳商法撃退」の落語と「質の良い睡眠」に関するお話をして頂きました。32名の参加者でまずは昼食、今回はなんと昼食付でした。話の輪はすぐに広がり、まさに談話室(サロン)です。昼食、講演、フリートキングを含めて2時間があつとゆう間に過ぎてしまいました。第4回えだにしサロンは3月14日に開催されます。



賛助会費募集のお願い

当地区の福祉ボランティア活動財源として賛助会費をお願いしております。皆さまのご支援、ご協力宜しくお願い致します。お申し込み、お問合せは下記までお願いします。

個人	一口 1,000円
団体(法人・企業など)	一口 5,000円

荇田西地区社会福祉協議会会長 松山 貴

Tel: 045-911-9569

事務局長 根津 利三郎

Tel: 045-883-1912



ボランティア募集のお知らせ

荇田西社協は地域の皆さまの幅広いご参加をお願いしております。役員や理事から、特定のイベントに限った参加など、皆さまの関心や時間的条件などに合わせて相談させていただきます。ご関心の方は自治会や社協の役員、理事、ないしは下記までご連絡いただければ幸いです。

ご連絡先: 事務局長 根津利三郎

電話: 045-883-1912

メール: neuilly@nifty.com

編集後記

本年度は復刊後初年度ですが、3号まで発行いたしました。目下平成30年度の活動計画を検討中ですが、まとまり次第、できるだけ早く次号をお届けします。荇田西社協の年度予定を掲載いたします。